

次回の宿題は、「十三期生の全員参加」

心して取り組めば、すべてが学びの機会

入塾式から一ヶ月が経過しました。みなさんに次にお目にかかるのは、九月二十日の夜です。前回の手紙でもお願いしたように、次回の例会には、ほんの一瞬でも構いません、「十三期生の全員が揃う」ことを、必須の課題としてください。みんなで力を合わせて、「九月の例会は、十三期生の全員が集合して、実質上の`入塾式`にしようではないか」といった課題に挑戦してほしいと思っています。これは単なるお願いではありません。私から、みなさんに課した「宿題」ととらえてください。

研修には、学校の授業のように、「先生の話聞いて、良い勉強になった」といったたぐいのものもあります。それは知識の学びです。しかし、『夢甲斐塾』の研修は、それとは少し趣が違います。`万事研修`です。問題意識を持って物事に取り組めば、「万事万物、すべてわが師になる」の考え方です。すなわち、日々の仕事や生活に生きる、実践的な力を身に付けることこそ、学びの大きな目的であります。

例えば、毎回の講座に参加できるように段取りを組むのも、大切な研修です。『夢甲斐塾』の日程に合わせて、仕事の段取りを組み、周りの人達の理解を得る。それには、大変な努力が必要です。しかし、その努力が、すべてのことについて、物事を円滑に進めるコツを学ぶ良い機会になります。また、全員が参加できるようにするために、会場はどこだったら参加しやすいだろうか、また、どの時間帯だったら一番出やすいだろうか、あるいは少し熱の冷めている人はどのように誘ったらいいだろうか、あるいは少し足の遠のいている人達が気軽に参加できる工夫はないだろうかなどと考える。その取り組みの一つ一つが、大きな学びになり、実際の生活に生きてくるのです。

『夢甲斐塾』の合言葉は、`主人公意識`です。研修の主人公は、塾生諸君の一人一人です。「誰かがやってくれているだろう」と考えるのは、既に`お客様意識`です。`お客様意識`で、常に与えられる姿勢である限りは、大した学びを得ることはできません。

次回の講座では、「全員参加」という私からの宿題に対して。みなさんがどのように取り組んだかを、発表してください。苦労話もあるでしょう。思わず笑ってしまうようなエピソードもあるかもしれません。そんな苦労話を、みんなで交換し合ひましょう。私もまた、聞かせてもらうことを大いに楽しみにしています。日々の生活を丁寧に生きることこそ、実感のある暮らし、充実した生活の基本です。是非、共に精進しましょう。

『夢甲斐塾』塾長 上甲 晃

■連絡事項

- ①「毎朝の塾長メッセージ」を携帯のメルマガで読んでください。登録料は無料。
- ②『インターネット青年塾』で、私のデイリーメッセージを日々発信しています。こちらにも、ぜひ読んでください。『夢甲斐塾』塾生は、年会費一万円のところ三千元です。（上記いずれも、登録、申込みの方法は、同封のチラシに掲載しています）